

戦気 NO-19

Fighting Spirit

発行者: 三谷大和
 編集者: 岩井 淑
 八千代市八千代台東1-44-13 三谷大和スポーツジム
 電話 & Fax: 047(486)2476 ツヨクナロー
 メール: mitani-y@khaki.plala.or.jp
 URL: http://www.mitani-yamato.com/

マスコットの
 ごんごちゃんです!



7月22日 M・SG・M Vol.2 後楽園ホール 鬼ヶ島竜 TKO負け!

セミファイナルに日本ミニマム級9位の鬼ヶ島竜が登場。対戦相手はWBC世界ライトフライ級20位のブンブン東栄選手(一カジム: 11勝(6KO)4敗1分)。

経験の差が出た。サウスポーのブンブン東栄は1ラウンドから巧みなジャブを繰り出しアウトボクシングを展開する。鬼ヶ島はインファイトに持ち込みたいのだが中々入り込むことができない。2ラウンドは積極的に出て得意のボディブローや右ストレートが決まる。3ラウンドに入るとブンブン東栄の巧さが随所に現れ、ジャブに続くコンビネーションが次々に決まり鬼ヶ島のパンチは空を切ることが多くなる。4ラウンドからレフリーストップとなった7ラウンド2分51秒まで同様の展開だった。

鬼ヶ島にとって勢いだけでは進んでいけないことを学んだ意味ある敗戦だったろう。これを教訓として前進しよう。

三谷会長のコメント

鬼ヶ島は世界ランカー20位とよく戦ったと思う。鬼ヶ島にとっては新人王からの流れを乗り越える試金石の試合だった。6連勝でストップしたが7連勝8連勝と続くより、結果は負けてしまったが彼としては大切なものを掴んだと思う。鬼ヶ島がこれからダイナミックな戦い方になっていく契機になればいい。

司はあの選手によく戦ったね。司は打たれたけれど前の試合に比べて打たれる数が少なくなっている。また、司自身がラウンド中に戦い方を変えて8ラウンドにKO勝ちしたのだからたいしたものだ。戦い方をあそこから変えることは中々できないことだ。鬼ヶ島も司ももう少し勉強だね。

前川は相手選手に打たれて効いているのにノーガードで勝負に出て行った。あれではだめだ。やり直した。

大橋はデビュー戦はセコンドの指示を全く聞かなかつたが、今回はセコンドの指示通りに動いた。3ラウンドを終えた時は目をつぶっており、4ラウンドはタオルを投げ込む用意もしたが、良く盛り返した。

前川秀樹 1R TKO負け(7/22)



前川はデビュー戦をKO勝利し勢いにまかせた第2戦だったが2匹目のドジョウはいなかった。対戦相手はデビュー戦の小野木協栄選手(協栄ジム)

前川は緊張していたのだろう動きが硬くノーガードで打合いに行き小野木選手の強烈なフックをもらいダウン。そのまま2分57秒でストップとなった。



ごんごちゃんを見た!!

リングサイドの観客を熱くさせるには、対戦相手と戦う前にプロ選手としての心構えが重要だ。試合当日のコンディションが最高の状態でリングに上がるために、日常生活において自己自身を徹底して律する生活態度が必要だ。そしてリング上ではインファイトで華々しく打ち合うのもいいだろうし、アウトボクシングで蝶のように舞い、蜂のように刺す華麗なフットワークもいだろう。自分の持つテクニックと頭脳をフルに使い全力を出して戦うのだ。しかし言うは易いが行なうは難しい。三谷大和ジムの選手たち頑張れ!!



斉藤 司 8R TKO勝ち(7/22)



対戦相手の池田善彦選手(グリーンツダジム)は根性ある強打者だった。司は3ラウンドに左眼をバッティングで切りドクターチェックが入った。5ラウンドまでの接近戦の手数は終始池田選手が多く、司はやりにくさを感じているようだった。司は6ラウンドからインファイトからアウトボクシングに変え距離を取って戦った。最終8ラウンド中盤で池田選手の顔面にヒットを打ち続けている状況でレフリーが間に入り1分41秒で試合をストップさせた。司はデビュー戦から無傷の9連勝となった。

佐藤寛人 C級プロテスト合格(6/24)

佐藤寛人は6月24日実施された東京地区C級プロテストに合格した。受験者28名、合格者12名、合格率42.9%。クラスは重量級のスーパーウエルター級。寛人は教員課程を学ぶ大学生だが、デビュー戦に向けより一層の練習に励もう。

大橋 実 4R 判定勝ち(7/20)

大橋実 は4月のデビュー戦を判定で落とし必勝を期した第2戦の対戦相手は関野博之選手(湘南RYUJUZUM: 1勝)。大橋は終始攻め続け、1ラウンド、2ラウンドともに左右のフックが決まる。だが3ラウンドの後半に入って前半の飛ばし過ぎでエネルギーが切れふらふら状態となる。最終4ラウンドを危惧したが最後の気力を振り絞って攻撃を続け2:0(38:38.39:38.39:37)で初勝利を挙げた。選手控室でも感激の涙を流していた。大橋、初勝利おめでとう!!

スケジュール

8月10日 平井良維
 8月19日 岩井大 東日本新人王4回戦

編集後記 6月下旬~7月下旬にかけて三谷大和ジム所属10選手の戦いは7勝3敗という成績でした。波に乗るとい言葉がありますが、前試合の結果がそのあとの試合に伝播し勢いをつけます。勿論、選手自身の弛まない練習と努力、自己節制が好結果を出していると思います。